

試合番号 : 477	試合会場 : 岡崎中央総合公園総合体育館	観客数 : 919
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:25	試合時間 : 01:25
主審 : 増岡 三佳子	副審 : 佐々木 伸子	
デンソーエアリービーズ 通算 17勝 12敗 ポイント : 47	19 第1セット 25 21 第2セット 25 21 第3セット 25 第4セット 第5セット	久光スプリングス 通算 19勝 8敗 ポイント : 59
監督コメント 昨日の敗戦から切り替えて臨んだ試合ですが、チームの頑張りが勝利に繋がらずとも悔しい結果となりました。昨日の試合よりも、チームとしての結束力をもって戦ったことは収穫です。明日こそは、チームの頑張りを勝利に繋げて、今シーズン最後のホームゲームを締めくくられるように準備をしていきます。今日も熱いご声援を送って頂きありがとうございます。	0	3 監督コメント 昨日の試合に引き続きサーブで主導権を握り、相手の攻撃を抑え自分たちのペースで試合を運ぶことができました。苦しい場面もあったが連続失点するケースが少なく、修正能力の高さも見てくれた。課題、修正点を見つめ直し、厳しい戦いは続くがチーム力向上を目指し次の試合に臨みたい。
要約レポート 愛知県岡崎市で行われているデンソーエアリービーズのホームゲーム2日目。現在4位の久光スプリングスと5位のデンソーが戦うV・レギュラーラウンド最終の好カード。第1セット、久光はブロックの的を絞らないセッター案からのトス回しで、中盤以降に流れを掴み、連続ブレイクに成功する。対するデンソーはアコスタと中元を中心に攻撃を組み立て追い上げる。2点差まで点差を詰められた久光だが、岡崎出身の中川がサーブエースを決めるなど、4連続得点に成功し抜け出すと、セットを先取した。デンソーが兵頭とアコスタの活躍で4連続得点し、幸先の良いスタートを切るものの、久光は堅いディフェンスから平山のクイックなどで逆転する。両チームともレシーブが繋がりが中盤はサイドアウトの応酬となるが、久光はアキラアワオがライトに走り込んでアタックを決めるなど、終盤にかけて流れを掴み、セットを連取した。第3セット、後の無くなったデンソーは、中元、アコスタ、兵頭が奮起するが、久光はサーブや、速いテンポでコート幅を有効に利用した攻撃でデンソーの守備を崩し、ブレイクを重ね、この試合に勝利した。		

試合番号 : 478	試合会場 : 岡崎中央総合公園総合体育館	観客数 : 887
開始時間 : 15:00	終了時間 : 16:20	試合時間 : 01:20
主審 : 北村 友香	副審 : 城 智人	
NECレッドロケッツ 通算 21勝 8敗 ポイント : 64	25 第1セット 21 25 第2セット 14 25 第3セット 18 第4セット 第5セット	PFUブルーキャッツ 通算 11勝 16敗 ポイント : 34
監督コメント 本日もたいさんの応援ありがとうございます。サーブで崩しブロックディフェンスからオフェンスで圧倒していく私たちのやりたいバレーを試合を通してやりきることができました。PFUのリバウンドから早い展開で崩しに行くプレーに対しては我慢して取るべきところで点を取ることができたので、自分達の時間を長く作ることができたと感じています。明日も今日のような試合ができるようにしっかり準備していきたいと思えます。引き続き応援よろしくお願いします。	3	0 監督コメント 昨日と変わらず基本的なプレーの精度が低いことによって点数を取り切れていない、精神的なところからきていることもあると思うので、しっかりリフレッシュして連戦に備えたい。本日も応援ありがとうございます。
要約レポート 今シーズンの戦績は1勝1敗の好カード。3位につけているNECレッドロケッツが勝利し、ファイナル3進出に一歩近づけた。第1セット、序盤からラリーが続く展開が多かったが、PFUブルーキャッツの強打をレシーブしてコンビ攻撃で切り返すNECが得点を重ねていった。特にラリー中のNEC・古賀のレフトからの早い攻撃が光った。対するPFUは、15-20の場面でコートにセッターがいない中、アウトサイドヒッターの鍋谷がレフトに並行トスを上げるなどまさか光ったが、終始早いコンビプレーを展開するNECがこのセットを奪う。第2セット、NECはセッター塚田が苦戦の時間差で島村・山田のブロード攻撃をテンポのよいトス回しでPFUのブロック陣に的を絞らせないが、対するPFUは、ブロッカー陣が苦勞する中でリベロ森田や和才のディグが光った。ラリーが続くNECの古賀、ウィルハイムが決め切り得点を重ね、セットを連取する。第3セット、後がないPFUは第2セット途中から出場の高相・堀口をスタートから起用。その両名は起用に答え豪快にスパイクを決めチームに勢いづける。これまでのセットと雰囲気が変わったが、地元愛知出身のNEC山田のブロード攻撃がこのセットも決まり、チーム21勝目を勝ち取った。		

試合番号 : 479	試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイंक体育館 (姫路市立中央体育館)	観客数 : 822
開始時間 : 13:05	終了時間 : 14:37	試合時間 : 01:32
主審 : 佐藤 美里	副審 : 沢田 元	
ヴィクトリーナ姫路 通算 6勝 22敗 ポイント : 20	25 第1セット 17 25 第2セット 20 25 第3セット 23 第4セット 第5セット	KUROBEアクアフェアリーズ 通算 3勝 25敗 ポイント : 7
監督コメント 昨日の敗戦を引きずりそうな雰囲気の中、選手一人ひとり今日勝つために少しでも前向きに必死で取り組んでくれた。また、それを会場で応援してくれた方がたくさん後押ししてくれたことが勝利につながったと思います。内容を振り返れば、ミスが多く、もう少し落ち着いてできる場面やうまくコントロールしなければいけない場面も多かった中で、ハイプレッシャーの中でも安定したスキルレベルを発揮できるように練習していきたいと思えます。最高の雰囲気の中でホームゲームができました。ファンの皆様、会場やTVで応援いただいた方々、本当にありがとうございます。来週は3連戦と非常に厳しい戦いとなりますので、また一丸となって頑張りたいと思えます。	3	0 監督コメント 非常に重要な本日のゲームに0-3での完敗となってしまいました。ディフェンスでのミスが多く、チームのリズムがなかなかできず、悔いの残るゲームでした。終盤戦に向け、もう一度チームを立て直し、全員で戦いたいと思えます。今後ともご声援よろしくお願いいたします。
要約レポート ホームゲームで勝利しファンの期待に応えたいヴィクトリーナ姫路と、KUROBEアクアフェアリーズとの対戦。第1セット、KUROBEは、ラツ、コラムにボールを集め攻撃を仕掛けるが、姫路は、佐々木のサーブや古市、ブラクのスパイクが決まり流れを掴む。KUROBEも、金杉のスパイク、フェイントで対抗するが、姫路は代わった福井の好レシーブから攻撃に繋げ得点を重ねセットを先取した。第2セット、序盤から両者一歩も譲らない展開となる。姫路は佐々木と田中、長野のスパイクで抜け出そうとするが、KUROBEも細沼、コラムの力強いスパイクとブロックで食らいつく。古市のサーブでリズムを掴んだ姫路がセットを連取した。第3セット、後がないKUROBEは、戸部のブロックでリードする。固い守備で粘るKUROBEだったが、チーム一丸となった姫路の攻撃が勢いに乗り3-0で勝利を取めた。		

試合番号 : 480	試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイंक体育館 (姫路市立中央体育館)	観客数 : 409
開始時間 : 16:00	終了時間 : 18:03	試合時間 : 02:03
主審 : 吉岡 奈々	副審 : 國頭 亮太	
東レアローズ 通算 22勝 6敗 ポイント : 67	25 第1セット 22 25 第2セット 22 22 第3セット 25 26 第4セット 24 第5セット	トヨタ車体クインシーズ 通算 8勝 23敗 ポイント : 25
監督コメント 今日の試合は、相手の粘り強いディフェンスに対して、後半は苦しい場面が多かったですが、こちらも全員でボールをつなぎ、勝ち切ることができたことは大きかったと思います。また次週に向けて課題点をしっかりと確認し、準備したいと思えます。本日もたいさんのご声援ありがとうございます。	3	1 監督コメント 現状の持っている力を出して戦った選手を讃えたい。第4セットのリードを保てずに逆転を許してしまう部分は、このような試合を経験することによって強くなっていくので、悔しさを忘れずに次戦への戦いに向けて準備をしたい。サーブ、ブロックでは相手を苦しめたが、ディフェンスで差がついてしまった。東レの屈強なディフェンス陣を崩すにはもう一段階高いレベルのプレーが必要です。応援してくださる皆様の声を受け止めて前へ進みます。ありがとうございました。
要約レポート 現在2位の東レアローズと、10位のトヨタ車体クインシーズの一戦。第1セット、東レは石川のスパイクが連続で決まり流れを掴む。対するトヨタ車体は大川、鴨原のバックアタックで食らいつく。中盤から東レが主導権を握りリードしたまま、このセットを先取する。第2セット、トヨタ車体はケルシーの高さのあるスパイクで勢いに乗ると、東レは中田、小川の速さのある攻撃で得点を重ね、終盤までゲームがもつれ込む。最後は東レのクランのサーブが決まり、25-22でセットを連取する。第3セット、東レはスターティングに西川を起用し、クラン、石川とともに力強いスパイクを見せる。このセットを取り返したいトヨタ車体は鴨原の強烈なスパイク、ハッタヤのブロックで粘りを見せ、両チーム一歩も譲らない展開から長いラリーを勝ち切ったトヨタがこのセットを取り返す。第4セット、トヨタ車体の山上、東レの関、両セッターが巧みなトスワークで様々な攻撃を仕掛け合う。序盤から一進一退の攻防が続いたこのセット、最後は26-24で東レが大接戦を制し、この試合に勝利した。		